

Title	ポール・T・P・ウォン博士の研究について
Author(s)	窪寺, 俊之
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, No.57, 2014.3 : 72-74
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=5095
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

ポール・T・P・ウォン博士の研究について

窪 寺 俊 之

本紀要掲載の千葉征慶氏の「意味中心カウンセリング」はポール・ウォン博士の著作の翻訳である。ポール・ウォン博士はまだ日本では一部の研究者にしか知られていないが、北米を中心に活躍する「意味中心カウンセリングとセラピー」の分野で研究と実践を進めている学者である。日本では二〇一二年の「日本臨床死生学会学術大会」の主講師として来日して、学会での学術講演と聖学院大学での一般講演を行い、聴衆に深い感銘を与えた。

ここで、ウォン博士の紹介をして、この著作の理解に多少役立つことを願う。

まず、ウォン博士は中国の天津で生まれて香港に移り、キリスト教主義の学校に入学。そこで東洋宣教教会の宣教師の影響を受けて、キリスト教に入信。宣教師の勧めでカナダのトロント聖書大学に学んだ。そこで神学修士号を取得。その後、トロント大学大学院で心理学を学び、博士号 (Ph.D.) を取得。ヨーク大学、トレント大学、トロント大学、トリニティ西部大学、ティンデル大学、ティンデル神学大学などで非常勤、常勤を含めて教鞭を執った。ウォン博士は大学での教育と研究の傍ら、海外からの留学生の世話を精力的に行ってきた。現在はおつばら著作と講演、それにクライエントのカウンセリングに当たっている。その他、「意味中心カウンセリング研究所」(Meaning-Centered

Counseling Institute: MCCI) の所長、「個人的意味に関する国際ネットワーク」(International Network on Personal Meaning: INPM) の会長を務めている。

ウォン博士のカウンセリングは「意味中心カウンセリングとセラピー」(Meaning-Centered Counseling and Therapy: MCCCT) と呼ばれているが、この分野ではヴィクトール・フランクルのロゴセラピーが有名である。ウォン博士の理論はフランクルをベースにしながら、クライエント中心カウンセリング、ナラティブ・セラピー、ポジティブ・セラピー、比較文化心理学などの理論を取り入れて、その統合を目指している。ウォン博士自身は、多くの心理学者から多くの影響を受けたが、フランクルの他、実存主義心理学者のアーヴィン・D・ヤーロムらから多くの影響を受けたと語っている。ウォン博士は、ロゴセラピーの価値は、スピリチュアリティ、意味への意志、自己超越を重視している点だと言う。また、認知行動療法では認知思考や認知方法を重視している点、また、ナラティブ心理学では本人が語る生きた物語を重視する点が、高く評価できると言う。

ウォン博士は一つの心理学理論が万能だとは考えていない。むしろ、それぞれの理論から学ぶべきものを学び、臨床に役立てるべきだとの立場をとっている。このような学問的に開かれた立場をとっている背後には、臨床家としてクライエントの苦しみを切実に感じていることがあると思われる。クライエントのためにあらゆる理論や方法を使って、苦しみを和らげたいとの強い思いがある。

翻って、日本の精神的状況を考えると、生きる意味を見出せず苦しんでいる人が多い。学校、高齢者施設は勿論、企業人の中にも見られる。日本人は、戦後、科学の進歩や経済の発展を追い求めてきたが、今、人々は生きることに疲れている。「進歩」も「発展」も美しい言葉であるにもかかわらず、ただ虚しく感じられる。立ち止まって人間としての生き方を顧みる時期である。生きる意味を真正面から扱うウォン博士の提唱する「意味中心カウンセリングとセラ

ピー」が、この現代人の苦悩の一端の解決の鍵を提供できるならば、この著作の目的が十分果たされたと思う。

著書には、以下のものがある。

Paul T.P. Wong (ed.), *The Human Quest for Meaning: Theories, Research, and Applications*, 2nd ed., Routledge, 2012.

A. Tomer, G.T. Eliason, & P.T.P. Wong (eds.), *Existential and spiritual issues in death attitudes*. New York, NY: Lawrence Erlbaum Associates, 2008.

P.T.P. Wong, M. MacDonald, and D. Klaassen (eds.), *The Positive Psychology of Meaning and Spirituality*, INPM Press, 2007.

論文は、一二〇編を超え、現在、「実存主義心理学・心理療法国際学会誌」(International Journal of Existential Psychology and Psychotherapy)の編集委員や「ヒューマニスティック心理学とグローバル・マネージメント誌」(Journal of Humanistic Psychology and Global Management)の編集委員を務めている。

ウォン博士のこの翻訳が、不安な現代社会で生きる知恵と力を得る機会になることを願っている。